各階層別の安全教育に関するアンケート結果の概要(全般)

1. 対象:

- 一般社員(28%)、係長等(24%)、安全スタッフ(21%)、部課長(18%)の順に多い。
- 各経営層(2%)、事業所長等(7%)に対する安全教育の実施率が低い。

2. 手法別

- 安全活動等(23%)が一番多く、以下、管理体制(14%)、企業理念等(9%)、リスクアセスメント(9%)が多い。
- 部課長は安全衛生管理体制、係長·職長は安全活動等、一般社員·新入社員は安全活動等が多い。
- 危険体感教育は、一般社員·新入社員で多く(40.0%)みられていたが、多くの階層で行われていた。
- 非定常対策の実施率(0.5%)が低い。

3. ハザード別

全般が全体の72%を占め、以下、作業行動(10%)、機械等(8%)、その他(5%)となっている。

各階層別の安全教育に関するアンケート結果の概要(業界別)

1. 金属関係

- 対象別:係長等(26%)と一般社員(27%)への研修が多い。
- 手法別:安全活動等(25%)、管理体制(13%)、リスクアセス(10%)、 危険体感教育(10%)が多い。
- ハザード別:全般(69%)のほか、作業行動(10%)、機械等(10%)、 その他(5%)、爆発物等(3%)など、幅広いハザードについて教育を 実施している。

2. 素材関係

- 対象: 一般社員(31%)、安全スタッフ(29%)への研修が多い。
- 手法別:管理体制(21%)、企業理念(12%)、安全活動等(12%)が 多い。
- ハザード別:全般(79%)のほかは、作業行動(8%)が多い。

各階層別の安全教育に関するアンケート結果の概要(業界別)

3. 化学関係

- 対象:一般社員(36%)、部課長(28%)が多い。
- 手法別:安全活動等(28%)、防災(17%)、法令マニュアル等 (14%)が多い。
- ハザード別:全般(81%)のほかは、作業行動(11%)、爆発物等(8%)が多い。

4. 組み立て工業関係

- 対象:部課長、安全スタッフ、係長、一般社員がほぼ均等(24%)に対象となっている。
- 手法別:企業理念等(29%)、法令マニュアル等(24%)が多い。
- ハザード別:全般(76%)のほかは、作業行動(19%)が多い。

安全教育プログラム集計結果(全体)

1. アンケート回収

団体数	8
事業所数	23
教育プログラム数	584

2. 教育階層別

階層	件数(件)	割合 (%)
経営層	12	2.0
事業所長・工場長	41	7.0
部課長	104	17.0
安全スタッフ	120	20.0
係長・職長	142	24.0
一般社員・新入社員	165	28.0
合計	584	100.0

3. 手法別

于法別								牢1⊻;1针
手法	主な教育内容	経営層	事業所長・ 工場長	部課長	安全 スタッフ	係長・ 職長	一般社員・ 新入社員	合計
企業理念・安全理念等	自社のあるべき安全文化とその実現の為の行動計画、 経営幹部による安全講話	7	6	14	3	8	14	52
安全衛生推進計画等	グループ全体への安全衛生方針の伝達	0	0	2	3	5	4	14
安衛法令・マニュアル等	労働安全衛生法の概要教育、 荷役作業安全対策ガイドラインの説明	0	1	6	12	8	12	39
安全衛生管理体制	安全管理技術、役職の権限と責任	1	6	23	16	21	13	80
災害事例・災害統計	事例検討のやり方教育および実習	1	1	1	1	4	8	16
リスクアセスメント	ハザードの洗い出し、リスクの見積もり、 優先順位の設定、リスク低減対策を実習を通じて学ぶ	0	6	10	15	13	8	52
安衛マネジメントシステム	労働安全衛生マネジメントシステム・模擬監査	0	3	8	9	7	1	28
設備点検等	機械の安全化手法、設備点検の基礎	0	1	2	3	1	10	17
安全活動等	KYT、指差呼称、ヒヤリハット、TBM、KY、 5S等の日常の安全活動等	1	8	13	17	34	60	133
非定常作業対策	臨時入構内業者に対する安全衛生教育	0	0	1	1	1	0	3
危険体感教育	フォークリフトの死角等体験、マネキン再現による 危険予知、高所危険体感、回転体危険体感、電気危険 体感、玉掛け危険	0	4	7	9	11	21	52
教育指導手法等	職長としての心構え、あるべき姿等、正しい指示の 出し方、伝え方訓練、コミュニケーションカ、傾聴力	0	0	6	16	17	4	43
防災・異常時対応	緊急事態の初期対応、防災活動訓練	2	3	6	7	7	9	34
安全監査	システム監査の概要、OSHMS内部監査員研修	0	2	5	8	5	1	21
	合計	12	41	104	120	142	165	584

4.八ザード別

ハザード	主な教育内容	経営層	事業所長・ 工場長	部課長	安全 スタッフ	係長・ 職長	一般社員・ 新入社員	合計
全般		10	27	83	89	108	103	420
機械等	機械の安全化手法、回転体危険体感、正しい工具の使い 方	0	6	9	10	8	15	48
爆発性、発火性、引火性、腐食性等の物質	コントロールバンディングの進め方、 爆発・火災の原理、対策等	0	2	3	3	3	5	16
電気、熱、その他のエネルギー	電気設備取扱いの基礎、電気故障と対応	0	0	0	0	0	1	1
作業方法	リスクアセスメントの考え方・有効性について	0	0	0	1	2	4	7
作業場所	諸情報の入手	0	0	1	1	1	0	3
作業行動等	KYT、指差呼称、巻き込まれ体感、転倒体感	2	5	5	10	10	29	61
その他	救命救急士の養成	0	1	3	6	10	8	28
	合計	12	41	104	120	142	165	584

安全教育プログラム集計結果 (金属)

日本鉄鋼連盟、日本アルミニウム協会、日本鉱業協会、日本伸銅協会

1. アンケート回収

・アンケート回収 団体数 4 事業所数 12 教育プログラム数 420

2. 教育階層別

階層	件数(件)	割合 (%)
経営層	7	1.0
事業所長・工場長	36	8.0
部課長	72	17.0
安全スタッフ	79	18.0
係長・職長	111	26.0
一般社員・新入社員	115	27.0
合計	420	100.0

3. 手法別

一人人								$+\omega$, π
手法	主な教育内容	経営層	事業所長・ 工場長	部課長	安全 スタッフ	係長・ 職長	一般社員・ 新入社員	合計
企業理念・安全理念等	自社のあるべき安全文化とその実現の為の行動計画、 経営幹部による安全講話	4	5	6	1	6	7	29
安全衛生推進計画等	グループ全体への安全衛生方針の伝達	0	0	2	3	5	4	14
安衛法令・マニュアル等	労働安全衛生法の概要教育、 荷役作業安全対策ガイドラインの説明	0	1	4	5	4	5	19
安全衛生管理体制	安全管理技術、役職の権限と責任	1	3	15	10	17	9	55
災害事例・災害統計	事例検討のやり方教育および実習	0	0	0	0	1	4	5
リスクアセスメント	ハザードの洗い出し、リスクの見積もり、 優先順位の設定、リスク低減対策を実習を通じて学ぶ	0	6	8	10	10	7	41
安衛マネジメントシステム	労働安全衛生マネジメントシステム・模擬監査	0	3	6	6	5	1	21
設備点検等	機械の安全化手法、設備点検の基礎	0	1	1	1	1	9	13
安全活動等	KYT、指差呼称、ヒヤリハット、TBM、KY、 5S等の日常の安全活動等	1	8	11	15	30	43	108
非定常作業対策	臨時入構内業者に対する安全衛生教育	0	0	0	0	0	0	0
危険体感教育	フォークリフトの死角等体験、マネキン再現による 危険予知、高所危険体感、回転体危険体感、電気危険 体感、玉掛け危険	0	4	5	8	9	15	41
教育指導手法等	職長としての心構え、あるべき姿等、正しい指示の 出し方、伝え方訓練、コミュニケーションカ、傾聴力	0	0	6	13	14	4	37
防災・異常時対応	緊急事態の初期対応、防災活動訓練	1	3	4	4	5	7	24
安全監査	システム監査の概要、OSHMS内部監査員研修	0	2	4	3	4	0	13
	合計	7	36	72	79	111	115	420

4.八ザード別

ハシートかり								半位,什
ハザード	主な教育内容	経営層	事業所長・ 工場長	部課長	安全 スタッフ	係長・ 職長	一般社員・ 新入社員	合計
全般		6	22	54	57	82	69	290
機械等	機械の安全化手法、回転体危険体感、正しい工具の使い方	0	6	8	8	8	13	43
爆発性、発火性、引火性、腐食性等の物質	コントロールバンディングの進め方、 爆発・火災の原理、対策等	0	2	2	1	3	4	12
電気、熱、その他のエネルギー	電気設備取扱いの基礎、電気故障と対応	0	0	0	0	0	1	1
作業方法	リスクアセスメントの考え方・有効性について	0	0	0	1	2	3	6
作業場所	諸情報の入手	0	0	1	1	1	0	3
作業行動等	KYT、指差呼称、巻き込まれ体感、転倒体感	1	5	4	6	8	20	44
その他	救命救急士の養成	0	1	3	5	7	5	21
	合計	7	36	72	79	111	115	420

安全教育プログラム集計結果(素材)

日本製紙連合会、セメント協会

1. アンケート回収

団体数	2
事業所数	5
教育プログラム数	107

2. 教育階層別

階層	件数(件)	割合 (%)
経営層	3	2.0
事業所長・工場長	3	2.0
部課長	17	15.0
安全スタッフ	31	28.0
係長・職長	20	18.0
一般社員・新入社員	33	30.0
合計	107	100.0

3. 手法別

. 于 <u>法</u> 别								平1位;1十
手法	主な教育内容	経営層	事業所長・ 工場長	部課長	安全 スタッフ	係長・ 職長	一般社員・ 新入社員	合計
企業理念・安全理念等	自社のあるべき安全文化とその実現の為の行動計画、 経営幹部による安全講話	2	0	1	2	2	6	13
安全衛生推進計画等	グループ全体への安全衛生方針の伝達	0	0	0	0	0	0	0
安衛法令・マニュアル等	労働安全衛生法の概要教育、 荷役作業安全対策ガイドラインの説明	0	0	1	4	2	3	10
安全衛生管理体制	安全管理技術、役職の権限と責任	0	2	7	5	4	4	22
災害事例・災害統計	事例検討のやり方教育および実習	1	1	1	1	3	3	10
リスクアセスメント	ハザードの洗い出し、リスクの見積もり、 優先順位の設定、リスク低減対策を実習を通じて学ぶ	0	0	2	4	2	1	9
安衛マネジメントシステム	労働安全衛生マネジメントシステム・模擬監査	0	0	1	2	1	0	4
設備点検等	機械の安全化手法、設備点検の基礎	0	0	1	2	0	1	4
安全活動等	KYT、指差呼称、ヒヤリハット、TBM、KY、 5S等の日常の安全活動等	0	0	0	1	1	11	13
非定常作業対策	臨時入構内業者に対する安全衛生教育	0	0	1	1	1	0	3
危険体感教育	フォークリフトの死角等体験、マネキン再現による 危険予知、高所危険体感、回転体危険体感、電気危険 体感、玉掛け危険	0	0	2	1	2	3	8
教育指導手法等	職長としての心構え、あるべき姿等、正しい指示の 出し方、伝え方訓練、コミュニケーションカ、傾聴力	0	0	0	3	1	0	4
防災・異常時対応	緊急事態の初期対応、防災活動訓練	0	0	0	2	1	1	4
安全監査	システム監査の概要、OSHMS内部監査員研修	0	0	0	3	0	0	3
	合計	3	3	17	31	20	33	107

4. 八ザード別

ハリートか								单位;什
ハザード	主な教育内容	経営層	事業所長・ 工場長	部課長	安全 スタッフ	係長・ 職長	一般社員・ 新入社員	合計
全般		3	3	16	24	18	21	85
機械等	機械の安全化手法、回転体危険体感、正しい工具の使い方	0	0	1	2	0	2	5
爆発性、発火性、引火性、腐食性等の物質	コントロールバンディングの進め方、 爆発・火災の原理、対策等	0	0	0	1	0	0	1
電気、熱、その他のエネルギー	電気設備取扱いの基礎、電気故障と対応	0	0	0	0	0	0	0
作業方法	リスクアセスメントの考え方・有効性について	0	0	0	0	0	1	1
作業場所	諸情報の入手	0	0	0	0	0	0	0
作業行動等	KYT、指差呼称、巻き込まれ体感、転倒体感	0	0	0	3	0	6	9
その他	救命救急士の養成	0	0	0	1	2	3	6
	合計	3	3	17	31	20	33	107

安全教育プログラム集計結果(化学)

日本化学工業協会

1. アンケート回収

団体数	1
事業所数	4
教育プログラム数	36

2. 教育階層別

階層	件数(件)	割合 (%)
PE/E	1192 (11)	לסי חנים
経営層	1	2.0
事業所長・工場長	1	2.0
部課長	10	27.0
安全スタッフ	5	13.0
係長・職長	6	16.0
一般社員・新入社員	13	36.0
合計	36	100.0

3. 手法別

于法別								里位;任
手法	主な教育内容	経営層	事業所長・ 工場長	部課長	安全 スタッフ	係長・ 職長	一般社員・ 新入社員	合計
企業理念・安全理念等	自社のあるべき安全文化とその実現の為の行動計画、 経営幹部による安全講話	0	0	4	0	0	0	4
安全衛生推進計画等	グループ全体への安全衛生方針の伝達	0	0	0	0	0	0	0
安衛法令・マニュアル等	労働安全衛生法の概要教育、 荷役作業安全対策ガイドラインの説明	0	0	1	0	0	4	5
安全衛生管理体制	安全管理技術、役職の権限と責任	0	1	1	1	0	0	3
災害事例・災害統計	事例検討のやり方教育および実習	0	0	0	0	0	0	0
リスクアセスメント	ハザードの洗い出し、リスクの見積もり、 優先順位の設定、リスク低減対策を実習を通じて学ぶ	0	0	0	1	1	0	2
安衛マネジメントシステム	労働安全衛生マネジメントシステム・模擬監査	0	0	0	0	0	0	0
設備点検等	機械の安全化手法、設備点検の基礎	0	0	0	0	0	0	0
安全活動等	KYT、指差呼称、ヒヤリハット、TBM、KY、 5S等の日常の安全活動等	0	0	1	1	2	6	10
非定常作業対策	臨時入構内業者に対する安全衛生教育	0	0	0	0	0	0	0
危険体感教育	フォークリフトの死角等体験、マネキン再現による 危険予知、高所危険体感、回転体危険体感、電気危険 体感、玉掛け危険	0	0	0	0	0	1	1
教育指導手法等	職長としての心構え、あるべき姿等、正しい指示の 出し方、伝え方訓練、コミュニケーションカ、傾聴力	0	0	0	0	1	0	1
防災・異常時対応	緊急事態の初期対応、防災活動訓練	1	0	2	1	1	1	6
安全監査	システム監査の概要、OSHMS内部監査員研修	0	0	1	1	1	1	4
		1	1	10	5	6	13	36

4.八ザード別

ハシートかり								单位,件
ハザード	主な教育内容	経営層	事業所長・ 工場長	部課長	安全 スタッフ	係長・ 職長	一般社員・ 新入社員	合計
全般		0	1	8	3	5	12	29
機械等	機械の安全化手法、回転体危険体感、正しい工具の使い方	0	0	0	0	0	0	0
爆発性、発火性、引火性、腐食性等の物質	コントロールバンディングの進め方、 爆発・火災の原理、対策等	0	0	1	1	0	1	3
電気、熱、その他のエネルギー	電気設備取扱いの基礎、電気故障と対応	0	0	0	0	0	0	0
作業方法	リスクアセスメントの考え方・有効性について	0	0	0	0	0	0	0
作業場所	諸情報の入手	0	0	0	0	0	0	0
作業行動等	KYT、指差呼称、巻き込まれ体感、転倒体感	1	0	1	1	1	0	4
その他	救命救急士の養成	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1	1	10	5	6	13	36

安全教育プログラム集計結果(組立て)

日本自動車工業会

1. アンケート回収

団体数	1
事業所数	2
教育プログラム数	21

2. 教育階層別

階層	件数(件)	割合 (%)
経営層	1	4.0
事業所長・工場長	1	4.0
部課長	5	23.0
安全スタッフ	5	23.0
係長・職長	5	23.0
一般社員・新入社員	4	19.0
合計	21	100.0

3. 手法別

. 于法別								平位;1十
手法	主な教育内容	経営層	事業所長・ 工場長	部課長	安全 スタッフ	係長・ 職長	一般社員・ 新入社員	合計
企業理念・安全理念等	自社のあるべき安全文化とその実現の為の行動計画、 経営幹部による安全講話	1	1	3	0	0	1	6
安全衛生推進計画等	グループ全体への安全衛生方針の伝達	0	0	0	0	0	0	0
安衛法令・マニュアル等	労働安全衛生法の概要教育、 荷役作業安全対策ガイドラインの説明	0	0	0	3	2	0	5
安全衛生管理体制	安全管理技術、役職の権限と責任	0	0	0	0	0	0	0
災害事例・災害統計	事例検討のやり方教育および実習	0	0	0	0	0	1	1
リスクアセスメント	ハザードの洗い出し、リスクの見積もり、 優先順位の設定、リスク低減対策を実習を通じて学ぶ	0	0	0	0	0	0	0
安衛マネジメントシステム	労働安全衛生マネジメントシステム・模擬監査	0	0	1	1	1	0	3
設備点検等	機械の安全化手法、設備点検の基礎	0	0	0	0	0	0	0
安全活動等	KYT、指差呼称、ヒヤリハット、TBM、KY、 5S等の日常の安全活動等	0	0	1	0	1	0	2
非定常作業対策	臨時入構内業者に対する安全衛生教育	0	0	0	0	0	0	0
危険体感教育	フォークリフトの死角等体験、マネキン再現による 危険予知、高所危険体感、回転体危険体感、電気危険 体感、玉掛け危険	0	0	0	0	0	2	2
教育指導手法等	職長としての心構え、あるべき姿等、正しい指示の 出し方、伝え方訓練、コミュニケーションカ、傾聴力	0	0	0	0	1	0	1
防災・異常時対応	緊急事態の初期対応、防災活動訓練	0	0	0	0	0	0	0
安全監査	システム監査の概要、OSHMS内部監査員研修	0	0	0	1	0	0	1
	合計	1	1	5	5	5	4	21

4. 八ザード別

ハリー [半位,1十
ハザード	主な教育内容	経営層	事業所長・ 工場長	部課長	安全 スタッフ	係長・ 職長	一般社員 · 新入社員	合計
全般		1	1	5	5	3	1	16
機械等	機械の安全化手法、回転体危険体感、正しい工具の使い方	0	0	0	0	0	0	0
爆発性、発火性、引火性、腐食性等の物質	コントロールバンディングの進め方、 爆発・火災の原理、対策等	0	0	0	0	0	0	0
 電気、熱、その他のエネルギー 	電気設備取扱いの基礎、電気故障と対応	0	0	0	0	0	0	0
作業方法	リスクアセスメントの考え方・有効性について	0	0	0	0	0	0	0
作業場所	諸情報の入手	0	0	0	0	0	0	0
作業行動等	KYT、指差呼称、巻き込まれ体感、転倒体感	0	0	0	0	1	3	4
その他	救命救急士の養成	0	0	0	0	1	0	1
	合計	1	1	5	5	5	4	21